

# キラリ人

おくい 奥井 まさたか 正喬さん・えつこ 悦子さん  
(大窪2区)



▲留学生のシャノン・スイニーさんと一緒に

奥井さんご夫妻は多くの外国から来られた方を「自宅に招待されています。昨年8月からはアメリカからの留学生シャノン・スイニーさんと一緒に暮らされています。シャノンさんは、以前日野町にALIT(外国語指導助手)として来られていたジョシユ・キャニング先生の娘さん。外国の方との交流等についてお聞きしました。

正喬さんと悦子さんが、日野町に訪れる外国の方と交流しようと思われたのは、息子さんのブラジルサッカー留学がきっかけとなったそうです。ブラジルの人達に大変お世話になられたそう、「ぜひその恩返しをしたい」という思いと「日野町を紹介したい」という思いから、多くの外国の方をご自宅に招待されています。姉妹都市であるエンプ市の方や、息子さんのサッカー留学でお世話になった方、

ALITの方など、たくさんの方とも親交をお持ちです。日野祭のときには、数か国の方が奥井さん宅に集まり、日野の伝統文化を体験する機会を作られています。シャノンさんは小さい頃、お父さんの仕事で日野にいられました。そのときに、奥井さんのご近所に生まれ、ご家族一緒に地域ぐるみでお付き合いがあったそうです。シャノンさんは、「日野町でホームステイをしたい」という希望を持ってアメリカに帰られました。その後、年賀状やクリスマスカードのやりとりが続いていたそうです。そして、昨年8月、シャノンさんの夢がかない、奥井さんと日野で生活されることになりました。

シャノンさんが日本へ来て、日野高校に留学できるよう、奥井さんは日野高校へお願いに行かれ、日野高校の多くの先生方の協力を得て実現したそうです。

現在日野高校2年生に在学中のシャノンさん。部活はバレーボール部で、スポーツが得意。休みの日には一緒に買い物に出かけたり、映画に行ったり、ご近所の皆さんとも親しくされ、毎日楽しく過ごされています。シャノンさんは、奥井さんのことを「日本のパパとママです」と話され、お二人も「自分たちの娘のようです」と、遠慮し合ふことなく、本当の親子のように過うされています。

取材中も日本語をわかりやすく伝える正喬さんと悦子さん。お二人の温かさが、シャノンさんに伝わり、安心感を与えているように感じました。



健康推進員  
さわむら かずこ  
澤村 和子さん  
(中之郷)

## ポイント

野菜ぎらいの子どももキムチ味にすると喜んで食べてくれます。シャキシャキ感を残して仕上げるのがポイント。

## ヘルシークッキング



### 材料(4人分)

もやし200g 豆苗100g キャベツ80g  
玉ねぎ50g にんじん50g 豚肉100g  
キムチの素大さじ1 だしの素小さじ1/2  
しょうゆ小さじ1 塩・コショウ少々 油  
小さじ1

## もやしと豆苗のキムチ炒め

### 作り方

①豆苗は根を切る。豚肉、キャベツは一口大に切る。②玉ねぎ、にんじんはせん切りにする。③フライパンに油を熱し、豚肉、玉ねぎ、にんじんを炒め、豚肉に火が通ったら、もやしとキャベツを加える。④野菜が少ししんなりしてきたら、豆苗、キムチの素、だしの素、しょうゆ、塩、コショウを加えサッと混ぜ、火を止める。

☆1人分エネルギー 150kcal  
たんぱく質2g / 脂質3.5g  
塩分量g

☆日野町緊急福祉灯油等購入費助成事業の対象の方で、まだ請求されていない方は、手続きをしてください。締め切りは、3月31日(必着)です。(※対象の方には、案内を送付済です。) 提出先:福祉課・介護支援課